

令和6年 7月 2日  
資料提供  
西牟婁・東牟婁記者クラブ 同時提供



紀伊山地の霊場と参詣

南紀熊野ジオパーク

## 世界遺産登録 20 周年特別展示 「地形地質から見た紀伊山地の霊場と参詣道」

紀伊半島の成り立ちと地形地質は、世界遺産にも登録されている熊野の霊場や参詣道とも深い関わりがあります。今回の展示では、和歌山県世界遺産センターと共同で作成した解説パネルと写真を展示し、ジオパークエリア内に限らず、大斎原や中辺路（田辺市）など、地形地質と関連した世界遺産についても紹介します。

### 1 期間・会場

- 1 展示期間 令和6年7月7日（日）～7月30日（火）
- 2 開館時間 9時～17時（入館無料）
- 3 会場 南紀熊野ジオパークセンター1階ロビー  
（東牟婁郡串本町潮岬2838-3）

### 2 展示内容

- ・紀伊山地の霊場と参詣道に関連した写真・・・14点
- ・写真に関する解説パネル・・・・・・・・・・14点
- ・世界遺産についての解説パネル・・・・・・・・1点
- ・地質と参詣道・霊場を紹介する地図・・・・1点

解説パネルの例

おおゆのはら  
**熊野本宮大社旧社地「大斎原」** 田辺市本宮町

熊野川の中洲にあり、明治22年の水害で罹災し明治24年に現社地に移転・遷座するまで社殿があった場所です。19世紀の切石積み基壇が遺されていて、周囲の森林は、かつて塔や護摩堂といった仏教施設が置かれていたところ、神仏習合の遺跡としても貴重なものとなっています。

**大斎原のでき方 川幅の違いに注目！**

大斎原周辺は深い海の底でできた付加体の地層が見られます。大斎原の南側には本宮断層と呼ばれる断層があり、断層を境に南側は浸食に強い地層（砂岩が多い）、北側は南側より浸食されやすい地層（泥岩が多い）が見られます。



① 断層に沿って地層がずれる  
断層に沿って地層がずれる

② 洪水時 地層が硬い南側では川幅が狭くなる

③ 洪水時 水の勢いが弱まる北側で土砂が堆積

④ 洪水を繰り返し大斎原と広い川原ができる

【問い合わせ】

南紀熊野ジオパークセンター

（東牟婁郡串本町潮岬2838-3）

担当：福村・大江（0735-67-7100）